

平成 24 年度 公社等経営評価委員会（第 3 回） 議事要旨

1 日 時 平成 25 年 3 月 26 日（火）10：00～11：30

2 場 所 兵庫県庁 2 号館 2 階 参与員室

3 出席者

(1) 委員

佐竹委員長、中尾委員、中西委員、前田委員、茂木立委員、吉田委員

(2) 兵庫県

企画県民部長、企画財政局長、財政課長、人事課長、資金財産室長、
新行政課長

4 議事要旨

(1) 平成 25 年度当初予算の概要、平成 25 年度実施計画に係る公社等の取組みについて事務局から説明。（委員から特に意見なし）

(2) 公社等の資金運用に関する報告

兵庫県資金管理委員会が取りまとめた「公社等の資金運用に関する報告」の内容について事務局から説明。事務局からの説明の概要は次のとおり。（委員から特に意見なし）

【趣旨】

密接公社の資金の適切な運用を図るため、県及び密接公社等の資金運用指針（共通指針）を策定

【主なポイント】

1 基本的な考え方

団体の持続可能な経営基盤、経営安定化の前提となる適切な資金運用の徹底、資金運用の計画、購入、購入後の運用管理、結果の検証、次の運用への反映といった P D C A サイクルの確立

2 組織体制

運用専任職員の配置が困難であることから県が随時相談を受ける仕組みを設けるとともに、団体の経営者・担当職員に定期的に研修を実施

3 運用計画の策定

短期だけではなく、長期の運用計画も策定

4 資金運用手続き

運用責任者を団体の経営者とし、意思決定過程の記録を義務づけ

5 運用対象商品

リスクの低い金融商品を基本とする

6 購入後の管理、マネジメント

団体において金融商品購入後の定期的なチェックを実施するとともに、県に対し運用実績等を定期的に報告

7 資金運用方針の改定、県の指導・助言と支援

各団体の資金運用方針を改定し、資金運用について県から積極的に助言

8 保有する金融商品の取扱い

共通指針に適合しない金融商品をすでに保有している場合は、当該団体の経営状況を見ながら対応を検討

(3) 平成 25 年度公社等経営評価委員会の進め方

平成 25 年度上半期の委員会の進め方について事務局から説明。（委員から特に意見なし）

- ・ 5 月・6 月に団体の個別ヒアリング（8 団体）を実施
- ・ 8 月に平成 24 年度決算状況を踏まえた各団体の経営状況の点検・評価を実施
- ・ 9 月に平成 24 年度行革実施状況報告の説明、平成 25 年度委員会提言の取りまとめを実施
- ・ 行革推進条例に基づく「3 年目の総点検」に係るプランの検討状況については随時、委員会へ報告

(4) よりわかりやすく充実した経営評価の導入について

委員会における経営評価の充実、県民へのわかりやすい情報提供を目的に、財務状況に関する客観的な経営指標の導入や事業・経営状況等に関する諸項目の自己評価の導入について事務局から提案。委員からの主な意見は次のとおり。

- ・ 財務状況に関する指標の導入というのは、いったんこの団体も同じ切り口で見るということ。その結果、問題のある部分があれば、それが当該団体特有のものかどうかを検討するきっかけになる。いったん同じ切り口で見るというのは非常に興味深い。
- ・ 自己評価は、得てして甘いものになるので、鋭い自己評価、厳しい自己評価に導くような項目の落とし込みが課題。また、評価にあたって団体特有の問題にどれだけ配慮できるかということもポイント。
- ・ 事務局提案の内容は視点として興味深く、また、自己評価結果が一目でわかるため見やすい。また、自己評価が甘い部分があれば、それについて批判もしやすい。
- ・ 委員会での各団体の評価にとってもプラス材料になると思うので、導入に向けて検討作業を進めていただくとよい。